

2. 情報館本館施設の概要（令和7年4月1日現在）

開 館 平成8年7月27日
位 置 厚岸郡厚岸町宮園1丁目1番地
建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
建設面積 1階 996.9 m² 2階 433.14 m² 計 1,428.49 m²
事 業 費 平成6年度 設計委託 20,394,000円
平成7年度 本体工事 604,177,400円
付帯工事 106,553,500円
工事監理委託 4,944,000円
備品購入費 59,997,000円
図書・視聴覚資料 40,258,000円
用地費 12,800,000円
設 備 一般図書コーナー45,000冊収容／児童図書コーナー10,000冊収容
閉架書庫 55,000冊収容／雑誌111誌（本館92誌・分館19誌）
新聞6誌
おはなしコーナー／紙芝居舞台 2台
検索コーナー／利用者用資料検索用システム（O P A C）端末1台
情報検索用パソコン1台
情報プラザ／飲食ができる談話室。
利用者用資料検索用システム（O P A C）用端末1台
A Vコーナー／6ブース（D V D機器5台 D V D兼L D機器1台
V H S機器3台 カセット1台 レコードプレーヤー
-1台）
コンピュータ実習室／パソコン8台
(視覚障害者用音声ナビゲーター・ソフト付)
視聴覚室／階段式固定席 50席
プロジェクター2台 D V D、B D機器 35 mm映写機2台・16 mm映写機2台・L D機器・V T R機器・C D機器
・スライド映写機2台・レコードプレーヤー
会議室／40人規模の会議の開催が可能。
視聴覚室と同様の装置の使用が可能。
※視聴覚室・会議室同時使用／壁の移動で120人規模の映画会、講演会の開催が可能。ピクチャーレール
ギャラリー／展示パネル12枚
受 賞 平成9年2月 北海道赤レンガ建築賞（北海道）
平成9年6月 照明普及賞（社団法人照明学会）
平成14年5月 公共建築賞優秀賞（社団法人公共建築協会）
令和5年2月 第22回「JIA25年賞」受賞
(公益社団法人日本建築家協会)

3. 情報館の特徴

- 1 電算化により本館、分館、図書館バスの資料を一元管理。
- 2 地域の活性化を図るため、利用される情報館を目指す。
釧路管内の住民に利用を開放。
- 3 電子情報の充実
 - (1) CD-ROM検索パソコンを無料開放。(開館から平成27年度まで)
 - (2) 大型画面による電子掲示板で行事、催し物案内。
 - (3) マルチメディア情報(厚岸町の情報)端末の設置。
(開館から平成20年度まで)
 - (4) インターネットの無料開放(1日1時間まで)。
 - (5) ホームページ・SNSによる情報発信。
- 4 視聴覚資料の充実
 - (1) CD、DVD・BD(貸し出し可能なもの)、DVD、カセットブックの貸出。
 - (2) AVベースでのDVD、BD、LD、CD、ビデオ、カセットの個人視聴。
- 5 視聴覚室の充実
 - (1) 35mm映写機、16mm映写機をそれぞれ2台備え、各種映画会を実施していたが、平成29年度に35mm映写機1台が故障となり、映写機での映画を断念。修理については、見通しが立っていない状況である。
 - (2) DVD、BD、LD、ビデオ、パソコンをプロジェクターでスクリーンに表示することができる。平成28年12月からHDMI形式での利用が可能となる。
 - (3) プロジェクター、スライド映写機などで各種講演会に対応できる。
 - (4) 階段式に固定席50席を設置し、ゆったりと映画を楽しむことができる。
 - (5) 視聴覚室、会議室の境界壁の移動で120席の映画会、講演会が開催可能。
- 6 コンピュータ実習室の設置
 - (1) 町民の情報リテラシー教育を実施。8台のパソコンでIT講習(初心者向けパソコン教室、ワード、エクセル、年賀状など)の講習会を開催。
 - (2) 視覚障がい者が自ら使用することができる、音声ナビゲーター・ソフトのあるパソコン(2台)を設置。
- 7 資料の充実
 - (1) 新刊見計らい送本による、迅速な新刊本の提供。
 - (2) 豊富な新聞、雑誌の購入。新聞6紙、雑誌111誌(本館・分館)。

4. 情報館の電子サービス

1 図書館管理システムの電算化

- (1) 本館、分館、図書館バスでの業務の電算化による資料の一元管理
 - ① 本館と分館 クラウドサーバーによりデータを一括管理。
 - ② 図書館バス 本館とオンラインにより、現地で貸出業務等ができる。
- (2) 新刊見計らい送本システムの導入による迅速な新刊提供
 - ① T R Cマークの購入。
利点：受入資料については、T R Cマークのダウンロードによりデータを作成。またT R Cが作成した書誌データを、図書館システムとの連携により検索することができる。
 - ② 新刊送本システムの導入で、新刊図書が毎日、日本出版販売（日販）から情報館へ直送されてくる。
利点：一般書店と同じ速さで新刊図書が納品され、現物を見て選書できる。①のT R Cマークの購入と相まって、新刊図書を発行後1～2週間で利用者に提供することができる。
- (3) T O C C A T Aマークによる視聴覚データを使用
CDの現物をT O C C A T Aに送付ののちCDデータが作成されS a a Sシステムからインターネット経由でデータを抽出しCDの目録を作成する。
利点：収容曲名、演奏者名、作曲者名などで検索できる。

2 インターネットの利用

- (1) 利用者開放
 - ① 検索コーナーにあるパソコン1台（W i n d o w s）を利用者に開放。
 - ② 光回線を使用。
 - ③ インターネット利用は無料。
 - ④ Wi-Fi無料開放（申込み時 ID、パスワード発行）。
- (2) 職員の利用
 - ① 事務室内のパソコンでレファレンス用として利用。
 - ② 道立図書館をはじめとして、道内公共図書館の蔵書検索、相互貸借。
 - ③ 北海道新聞社、ニフティサーブと法人契約。
 - ④ 北海道新聞記事の検索、ニフティは人物、雑誌記事等の検索に利用。

3 ホームページ・S N Sの開設

- (1) 情報館のP Rと利用者サービスを目的にホームページを開設
 - ① 新着図書を受入から6週間表示。
 - ② 情報館からのお知らせ、行事や展示の案内。
 - ③ スタッフ日記（毎週更新）。
 - ④ S N S（Facebook・Instagram・X）での行事や展示等の情報発信。

4 電子図書館の開設（令和4年度から）

- (1) 一般書、児童書の電子書籍を提供。
- (2) 行政資料や郷土資料のデータを電子書籍として提供。
- (3) 町内の中学校の教師及び児童、生徒にIDとパスワードを発行し、学校で使用しているタブレット端末から利用できる。

5 インターネットによる資料検索システム

- (1) 情報館ホームページにアクセスして情報館資料を検索することができる。
 - ① 図書資料については、書影（表紙画像）を表示。
 - ② 予約や貸出・予約状況照会、お気に入りリストを表示。

6 利用者用資料検索システム（O P A C）端末の設置

- (1) タッチパネル方式で利用者用資料検索システム（O P A C）端末を設置。

7 検索コーナー

- (1) 検索コーナーに利用者用資料検索システム（O P A C）とインターネット用パソコン各1台を設置。
- (2) インターネットを無料（1日1時間まで）で利用でき、Web上の情報データを検索できる。
- (3) タブレット端末1台設置し、電子図書館を閲覧できる。

8 情報プラザの情報端末

- (1) 情報館玄関横に飲食、歓談自由なスペース（情報プラザ）をつくり、検索コーナーに利用者用資料検索システム（O P A C）端末を設置。

9 玄関風除室電子掲示板

玄関に情報館案内として43型デジタルサイネージを設置。プレゼンテーションソフトで行事案内、図書館カレンダーを放映。

10 視覚障がい者用音声ナビゲーター・ソフトを入れたパソコンの設置

コンピュータ実習室の2台に視覚障害者用音声ナビゲーター・ソフトを導入。視覚障がい者が自分自身でパソコンを操作し、インターネットなどを利用できる。

11 コンピュータ実習室

8台のパソコンで町民向けの各種講座を実施。初心者向けIT講座（ワード、エクセル、年賀状講座など）、応用編等を実施。